

# 園長先生の子育てひろば

令和6年6月

園長 堀田 あけみ

6月です。それぞれが新しい環境にすっかり慣れて、調子が出るころです。しかし、子育てする上での大きな問題が容赦なく立ちはだかる時期でもあります。

雨、高温、虫。

子育てに関わらない方にとっては、当たり前で些細な問題。おそらく、子どもと一緒に行動しないと、このハードルの高さを想像するのは難しいと思います。

お出かけ前に日焼け止め、虫よけ。でも、ちゃんと塗らせてくれる？ 複数のお子さんがおられると誰から塗るの、というのもポイントになりますよね。お子さんの肌に合ったタイプを選ぶのも大変。様々な商品があるのは便利だけど、どれがいいのかわからなくて悩んでしまいます。

お子さんの雨具は傘？ レインコート？ そもそも抱っこのお子さんと一緒にだと、傘をさすのも一苦勞。お子さんの雨具、個人的なお勧めは、防水機能の高いレインコートだけ、というものです。傘は両手がふさがるし、他人に当たったりします。上手にさせなくて結局びしょぬれ。でも、子どもは傘をさしたがるんです。雨の日も幼稚園の正門に立って、登園するお子さんをお迎えしますが、傘はお子さんの渾身のファッションアイテムだというのがよくわかります。多分お気に入りが一番大きく書かれた持ち物です。私の子育て時代は男子は戦隊、女子はハム太郎、後にプリキュアがそれぞれの一強でしたが、ここにも時代による変化があります。男子の傘は圧倒的に恐竜。恐竜になりきれれるレインコートも人気です。恐竜の名前たくさん知ってて良かった。男児から、ちょっと尊敬してもらえます。女子はディズニーが多いです。とっても楽しそうにやってきます。水たまりは子どもにとっては、空からの素敵なプレゼントですが、ごめんなさい、雨の日は降園後、園庭でのお遊びはご遠慮いただいております。遊ばないでください、の赤い旗を立てます。通常は17時まで、ご利用いただけます。但し、降園後は保護者さん、お子さんをしっかり見ていてくださいね。

雨が上がったなら日傘を使いたいけど、よく動くタイプのお子さんだと、それどころではなかったり。小さい子どもさんは汗かきだから、一日に何度もお着換えして、タオルもたくさん使って、必然的に洗濯物が増えて、ここでも家事の負担が積み上げられます。

梅雨が明ければ夏、水遊びの楽しい季節です。梅雨には、お空の様子を見ながらのプールでしたが、思い切り遊べます。お子さんと夏祭りに行かれる方も多いと思いますが、園でも年長さんには夕涼み会のお楽しみがあります。預かり保育が19:30まであるので、夜の幼稚園を知っている子もいますが、多くのお子さんにとっては初めての夜。そしてきっと、最後の経験です。会の開幕を告げるのは、子ども達が一生懸命練習した竹打ち。イベントと同時に夏も始まります。夏休みにも預かり保育で幼稚園には元気な声が響きます。

なんだか、夏に対してマイナスのイメージで語ってしまいましたが、楽しいことも沢山、小さいお子さんと一緒に夏は、数回しか経験できません。それぞれのご家族が、楽しく過ごしてくださいように。